



272

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2025年7月20日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



論点 オーストラリア先住民の遺骨返還 大学や政府の対応は

25日(金)＝オピニオン面

東京大と京都大、国立科学博物館が6月、研究目的で長年収集・保管してきたオーストラリアの先住民の遺骨を約1世紀ぶりに返還しました。植民地主義を背景に発展した学問への反省や償いから、

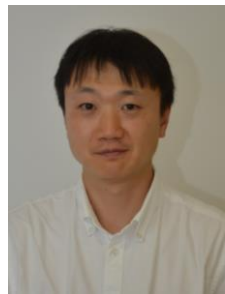
先住民遺骨の返還は国際的な流れになっています。その点で、日本の大学や政府の対応はどうだったのでしょうか。今回の返還に関わった先住民の代表や、この問題に詳しい研究者に聞きました。



先住民遺骨の返還式典が行われたオーストラリア大使館

記者の目 在日3世 韓国留学で感じたこと

24日(木)＝4面



日本には、朝鮮半島にルーツを持つ「在日コリアン」と呼ばれる人たちがいます。戦後80年を経た今では、日本で生まれ日本で学んだ人が大部分で、日韓の間で自身のアイデンティティーについて悩みを抱えがち。そ

んな「在日コリアン3世」の1人、金志尚記者＝写真＝が、6月まで1年間、韓国に留学しました。自身にとって韓国は「祖国」でも「外国」でもないとする金記者が、ソウルで体験し感じたことをつづります。

そこが聞きたい



急激に進化する生成AI（人工知能）が、ジャーナリズムにも大きな影響を与えています。生成AIが学習する過程で、新聞や通信各社の記事をネット上から無秩序に収集する一方、著作権者の権利保護に関する

生成AIとジャーナリズム

20日(日)＝くらしナビ面

特集 ワイド

蓮池薫さんが明かす北朝鮮工作機関

22日(火)＝夕刊2面

拉致被害者の蓮池薫さんが怒りを胸に秘め、新刊「日本人拉致」（岩波新書）で知られざる北朝鮮工作機関の実態を明かしました。2002年に帰国するまで24年間、かの地

で暮らした蓮池さん。「いつか、全てを語りますか?」。そう問いながら取材を続けてきた鈴木琢磨・客員編集委員が、久々のインタビューで真意に迫ります。



7月23日(火)19時から、オンラインイベント「『当選請負人』が斬るSNSと参院選」を開催します。SNSが選挙に与える影響や、動画を活用した戦略の今後について、選挙プランナー・松田馨さんと毎日新聞・服部正法編集長補佐が、参院選結果をもとに徹底討論。都知事選などでも注目されたSNSの功罪や、政治と有権者の関係の変化にも迫ります。ぜひご参加ください！（堀之内浩嗣）



MAINICHI
新毎日